

# 算 数

(2019年度)

## 《 注 意 》

1. 試験開始の合図があるまでは、問題用紙を開けてはいけません。
2. 問題（解答）用紙は3枚あります。試験開始の合図があったら、まず、問題（解答）用紙がそろっているかを確認、次に、すべての問題（解答）用紙に「受験番号」「氏名」「整理番号（下じきの下方の番号）」を記入しなさい。
3. 試験中は、試験監督の指示に従いなさい。
4. 試験中に、まわりを見るなどの行動をすると、不正行為とみなすことがあります。疑われるような行動をとってはいけません。
5. 試験終了の合図があったら、ただちに筆記用具を置きなさい。
6. 試験終了後、試験監督の指示に従い、解答用紙は書いてある方を表にして、上から、（その1）（その2）（その3）の順に重ね、全体を一緒に裏返して置きなさい。
7. 試験終了後、書きこみを行うと不正行為とみなします。

- .....
8. 問題（解答）用紙の余白は計算などに使ってかまいません。ただし、答えを求めるのに必要な図・式・計算・考えなどは、枠内わくないに書きなさい。
  9. 円周率の値めたいを用いるときは、3.14として計算しなさい。

2019年度  
算 数  
(その1)

受験番号	
氏 名	

1 3つの教室 A, B, C があり, 41 人の生徒が, それぞれ教室を選んで入ってきます。3つの教室について, 次のことがわかっています。

- 教室 A の室温は, 生徒が 1 人も入っていないとき 7 度で, 生徒が 1 人入るごとに 0.3 度上がる。
- 教室 B の室温は, 生徒が 1 人も入っていないとき 8 度で, 生徒が 1 人入るごとに 0.2 度上がる。
- 教室 C の室温は, 生徒が 1 人も入っていないとき 9 度で, 生徒が 1 人入るごとに 0.1 度上がる。

生徒が 1 人も入らない教室ができてよいものとして, 以下の問いに答えなさい。

(1) 41 人全員が教室に入ったところ, 2つの教室 A と C の室温が同じになりました。このとき考えられる生徒の入り方のうち, B の室温が最も高くなるのは, A と C に何人ずつ生徒が入ったときですか。

答 教室 A に  人 教室 C に  人

(2) 41 人全員が教室に入ったところ, 3つの教室 A, B, C の室温が同じになりました。このときの室温を求めなさい。

答  度

2 太郎君は, バスが走る道路沿いの道を通り学校へ通っています。ふだん, 太郎君は 7 時 50 分に家を出発し, 歩いて学校へ向かいます。すると, 8 時ちょうどに途中の A 地点でバスに追い抜かれます。

ある日, 太郎君がふだんより 3 分遅く家を出発し, 歩いて学校へ向かったところ, 7 時 59 分 40 秒にバスに追い抜かれました。

太郎君の歩く速さとバスの速さはそれぞれ一定であり, バスは毎日同じ時刻に A 地点を通過するものとします。以下の問いに答えなさい。

(1) 太郎君の歩く速さとバスの速さの比を, 最も簡単な整数の比で答えなさい。

答 太郎君の速さ : バスの速さ =  :

別の日, 太郎君がふだんより 3 分遅く家を出発し, 歩く速さの  $\frac{5}{2}$  倍の速さで走って学校へ向かったところ, A 地点より 720 m 学校に近い地点でバスに追い抜かれました。

(2) ふだん太郎君が歩く速さは秒速何 m ですか。

答 秒速  m

整理番号

小計

2019年度  
算 数  
(その2)

受験番号	
氏 名	

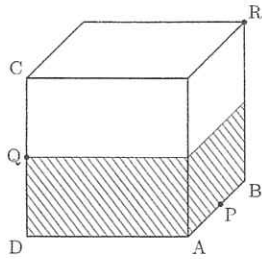
3 同じ高さの直方体の形をした白いもちと赤いもちがあります。右図のように赤いもちの上に白いもちを重ねて立方体を作ります。

2点P, Qはそれぞれ2辺AB, CD上の点で、

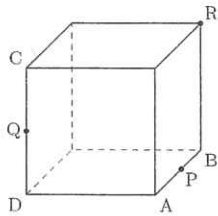
$$AP : PB = 4 : 3, \quad CQ = QD$$

です。3点P, Q, Rを通る平面で立方体を切断したとき、切り口の図形の白い部分と赤い部分の面積の比を、最も簡単な整数の比で答えなさい。

ただし、白いもちはどのように切っても切り口の色は必ず白になり、赤いもちはどのように切っても切り口の色は必ず赤になります。



必要ならば、下の図は自由に用いてかまいません。



答 白い部分 : 赤い部分 =  :

4 整数の中から、3の倍数と7の倍数だけをすべて取り出して小さい順に並べると、次のようになります。

3, 6, 7, 9, 12, 14, 15, 18, 21, 24, 27, ...

この数の列について、以下の問いに答えなさい。

(1) 1番目から9番目までの数の和を求めなさい。

答

(2) 77番目から85番目までの数の和を求めなさい。

答

(3) 1番目から99番目までの数の和を求めなさい。

答

(4) この数の列の中で連続して並ぶ99個の数を取り出し、その和を計算すると128205になりました。取り出した99個の数の中で最も小さい数は、数の列全体の中で何番目にありますか。

答  番目

整理番号

小計

2019年度  
算 数  
(その3)

受験番号	
氏 名	

5 中心に回転できる矢印が2本取り付けられた円盤があります。まず、この円盤の円周を7等分する位置に目盛りを振ります。さらに、図1のように、1から7までの数字が書かれた7枚のコインを各目盛りの位置に1枚ずつ置き、2本の矢印を1と2の数字が書かれたコインの方へ向けます。

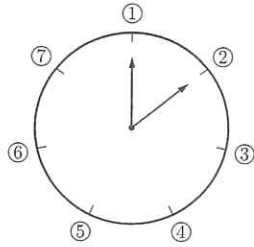


図1

ここで、次の【操作】を考えます。

【操作】 矢印が向いている目盛りの位置にある2枚のコインを入れ替え、その後2本の矢印をそれぞれ2目盛り分だけ時計回りに回す。

図1の状態から1回【操作】を行うと図2のようになり、さらに1回【操作】を行うと図3のようになります。

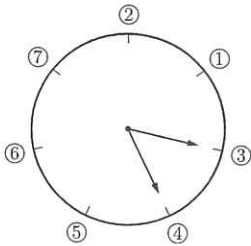


図2

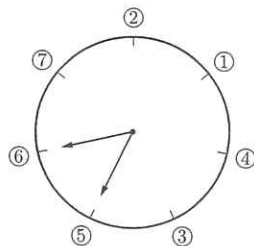
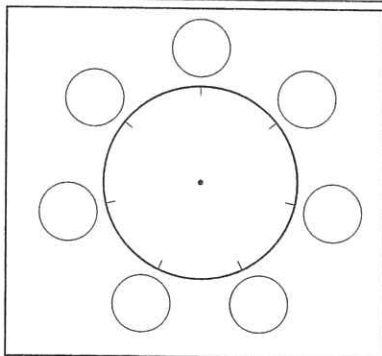


図3

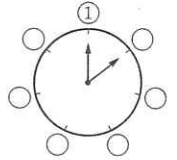
この操作について、以下の問いに答えなさい。

(1) 図1の状態から7回【操作】を行うと、7枚のコインの位置と2本の矢印の向きはどうなりますか。下の図に1から7までの数字と2本の矢印をかき入れなさい。

答



(2) 図1の状態から何回【操作】を行うと、1の数字が書かれたコインの位置と2本の矢印の向きが図1と同じになりますか。最も少ない回数を答えなさい。ただし、【操作】は1回以上行うものとします。



答  回

(3) 図1の状態から何回【操作】を行うと、全てのコインの位置と2本の矢印の向きが図1と同じになりますか。最も少ない回数を答えなさい。ただし、【操作】は1回以上行うものとします。

答  回

次に、円盤の円周を99等分する位置に目盛りを振り直します。さらに、図4のように、1から99までの数字が書かれた99枚のコインを各目盛りの位置に1枚ずつ、1から順に時計回りに置き、2本の矢印を1と2の数字が書かれたコインの方へ向けます。

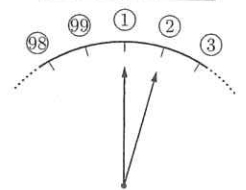


図4

(4) 図4の状態から何回【操作】を行うと、全てのコインの位置と2本の矢印の向きが図4と同じになりますか。最も少ない回数を答えなさい。ただし、【操作】は1回以上行うものとします。

答  回

整理番号

小計